

# みんなは知っている？ 海ごみみの問題。

海岸にごみがたまっているのを、みんなもテレビや新聞で見ることがあるんじゃないかな？これらの海ごみは、環境を悪くする原因になっているんだって。今回は、みんなで海ごみについて考えてみよう！

## 海ごみって何？ なぜ問題なの？

海ごみには種類があつて、海岸に流れついたものを「漂着ごみ」、海に漂っているものを「漂流ごみ」、海の底に沈んでいるものを「海底ごみ」というんだ。海岸にある海ごみは、清掃することで取り除くことができるけれど、海に漂っていたり、沈んでいるものすべてを回収することは難しいんだって。



実は海ごみは、環境問題にもなっている。図1で例をあげているように、大きく分けると2つの問題がある。①まず、ウミガメや海鳥など海の生き物が、ライターやペットボトルのキャップ、水の中で見るとクラゲに似てみえるビニール袋等のごみを、食べ物と間違えて食べてしまう問題だ。プラスチックは自然に分解されないで、生き物の体内にそのまま残ってしまう。②次に、捨てられた漁網等が、海の

## 街で出たごみも、 海ごみになるって 本当？

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、荒川の河川敷のさまざまな場所、いろいろな人がごみを拾いながら、川のごみや水質、自然回復などの問題を考え、人と自然が共に生きる社会をめざす活動を行っている。図2にあるように2013年に荒川で拾われたごみの



取材協力：東京都環境局 資源循環推進部

図1 うみ かんきょう あた あくえいきょう れい  
海ごみが環境に与える悪影響(例)



1 コアホウドリのヒナの死骸から出てきた大量の100円ライター



2 漁網が首に絡まったアシカ

図2 ねん あらかわ ひろ じょうい  
2013年 荒川で拾われたごみ上位20  
出典：特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム



飲食のプラスチック容器包装  
飲食以外のプラスチック容器包装  
タバコ関連  
レジャー、スポーツ、生活用品

図3のイラストにあるように、日本近海には4つの海流が流れている。暖流の黒潮と呼ばれる日本海流と、黒潮から分かれた対馬海流、寒流の親潮といわれる千島海流、そしてリマン海流だ。特に黒潮は、日本近海では

幅1000km、深さ500m以上と大きく、最大で時速約7.4〜9.3kmの早さで流れることがある。この勢いでごみを運んでしまうんだ。そして、ほかの海流でも同じようなことが起こっている。佐賀県の唐津市呼子



町や五島列島奈留島の海岸には、そこで暮らす人々が出すごみの何万倍もの量が中国や韓国等から流れていたり、日本の太平洋側の地域から流れ出たごみも遠くアメリカの海岸に運ばれることもあるんだよ。

## 海ごみを減らすために できることは、

海岸のごみ拾いをすることは、とてもよいことだ。でも、海岸をきれいにするだけでは、海ごみの問題は解決しないんだ。海ごみの多くが、私たちの生活の中から

出てきたものであることを考えると、家や学校でもできることがあると思わない？  
①ごみはポイ捨てしたりせずきちんと決められた場所に捨てたり、②できるだけごみを出さない暮らしを心がけることなど、いますぐ始められることが、きつとあるはず。家族や友達と一緒に、できることを考えて、ぜひ実行してみようね！

